

2026年度 実務経験のある教員による授業科目一覧（理学療法学科）

科目名	単位	講師名	実務経験内容
運動学 1	2	北島 保子	理学療法士として病院で運動療法実施や動作分析の経験のある教員がヒトが身体運動を行う際の関節運動や筋の働きについて講義を行う科目である
運動学 2	2	北島 保子	理学療法士として病院勤務の経験を有する教員が解剖学と力学の知識を基にして人体の運動学について講義する科目である
運動学 3	2	北島 保子	理学療法士として病院内勤務し、運動療法実施や動作分析の経験のある教員が動作分析に必要な力学と正常歩行のメカニズムについて講義を行う科目である
生理学 1	2	木下 佳祐	総合病院に勤務した経験を持つ教員が基本的な生理学の知識について講義する科目である
内科学 2	2	深堀 辰彦	理学療法士として総合病院に勤務した経験を持つ教員が内科疾患（代謝性疾患、内分泌疾患、感染症など）の症候や理学療法について講義を行う科目である
予防理学療法学	2	政所 和也	専門病院で理学療法士として実務経験のある教員が予防理学療法に関連する内容を教授し、演習を通して学生間で内容を共有し、多角的な視点を養う科目である
リハビリテーション概論	2	高森 真須美	理学療法士として病院に勤務経験のある教員がリハビリテーションの概念や障害、患者心理や社会制度、地域包括ケアなどについての授業を行う科目である
リハビリテーション入門	1	石田 真由	作業療法士として病院に勤務経験のある教員が作業療法士の仕事や専門職として必要な基本姿勢などについて授業を行う科目である
		深堀 辰彦	理学療法士として臨床経験のある教員が理学療法士の仕事や専門職として必要な基本姿勢などについて授業を行う科目である
理学療法概論	2	高森 真須美	理学療法士として病院に勤務し、管理職まで経験した教員が理学療法の歴史やリハビリテーション、安全管理や情報管理、職業倫理、理学療法士の組織などについての授業を行う科目である
臨床能力演習 1	1	木下 佳祐	回復期病院に勤務し、中枢神経障害、運動器障害の理学療法を経験した教員が臨床場面を想定し、模擬患者に対する検査・測定について講義・実技を行う科目である
臨床能力演習 2	1	木下 佳祐	回復期病院に勤務し、中枢神経障害、運動器障害の理学療法を経験した教員が臨床場面を想定し、模擬患者に対する検査・測定、治療について講義・実技を行う科目であるまた、現在、病院に勤務している理学療法士による講義・実技も2回実施する
理学療法管理学	2	高森 真須美	理学療法士として病院に勤務し、管理職まで経験した教員が良質な医療・介護提供のために職場管理や医療・介護制度、職能団体の活動を通して理学療法士として必要な考え方や行動を理解する科目である
理学療法評価学 1	1	小田 樹	理学療法士として総合病院に勤務した経験を持つ教員が基本的な検査・測定に関する知識や技術を講義・実技を通して習得させ、学生同士で実践できるよう授業を行う科目である
理学療法評価学 2	1	小田 樹	理学療法士として総合病院に勤務した経験を持つ教員が各種検査・測定に関する知識や技術を講義・実技を通して習得させ、学生同士で実践できるよう授業を行う科目である
理学療法評価学 3	1	小田 樹	理学療法士として総合病院に勤務した経験を持つ教員が各種検査・測定に関する知識や技術を講義・実技を通して習得させ、学生同士で実践できるよう授業を行う科目である
理学療法評価学 4	1	小田 樹	理学療法士として総合病院に勤務した経験を持つ教員が各種検査・測定に関する知識や技術を講義・実技を通して習得させ、学生同士で実践できるよう授業を行う科目である
理学療法疾患別評価学	1	北島 保子	理学療法士として病院に勤務した経験を持つ複数の教員がこれまで習得した各種検査・測定や画像読影技術をより実践的に各疾患ごとに学習し知識・技術を習得させる授業を行う
		木下佳祐	理学療法士として病院に勤務した経験を持つ複数の教員がこれまで習得した各種検査・測定や画像読影技術をより実践的に各疾患ごとに学習し知識・技術を習得させる授業を行う
		深堀辰彦	理学療法士として病院に勤務した経験を持つ複数の教員がこれまで習得した各種検査・測定や画像読影技術をより実践的に各疾患ごとに学習し知識・技術を習得させる授業を行う
臨床運動学	1	竹井 和人	急性期・回復期病院に勤務し、中枢神経障害、運動器障害の理学療法を経験した教員が対象者の全体像を把握するための方法について講義を行う科目である
運動療法学	2	政所 和也	理学療法士として病院に勤務していた教員が運動療法の歴史および運動療法の基礎を中心に講義を行う
運動療法学実習	1	政所 和也	理学療法士として病院に勤務していた教員が運動療法の実技（関節可動域の改善、筋力増強法など）を学び、学生同士で実践できるように授業を行う科目である
物理療法学 1	1	政所 和也	理学療法士として病院に勤務していた教員が物理療法の各項目における特徴・生理学的効果・適応と禁忌・注意事項などを講義する科目である
物理療法学 2	1	政所 和也	理学療法士として病院に勤務していた教員が物理療法の各項目における特徴・生理学的効果・適応と禁忌・注意事項などを理解し、適切な手技を身につけるように講義する科目である
日常生活活動学 1	1	竹井 和人	回復期病院で退院時指導に関わったり、訪問リハを通して退院後の生活フォローを経験した教員が対象者の日常生活の状況把握、改善のための方法について基本動作、福祉用具の使用などの実技を含む講義を行う科目である
日常生活活動学 2	1	竹井 和人	回復期病院で退院時指導に関わったり、訪問リハを通して退院後の生活フォローを経験した教員が対象者の日常生活の状況把握、改善のための方法について講義を行う科目である
義肢装具学	2	高森 真須美	総合病院に勤務し、整形外科・脳疾患・切断の理学療法を経験した教員が義肢装具について授業を行う科目である
		島ノ江 寿	専門病院に勤務し、整形外科・脳疾患・切断の理学療法を経験した教員が義肢装具について授業を行う科目である
運動器障害系理学療法学 1	1	北島 保子	急性期・回復期病院に勤務し、運動器障害の理学療法を経験した教員が骨折、関節リウマチ、末梢神経損傷の病態メカニズム、理学療法評価、治療プログラムについて講義を行う科目である
運動器障害系理学療法学 2	1	北島 保子	急性期・回復期病院に勤務し、運動器障害の理学療法を経験した教員が関節毎の主要な脱臼や筋・腱・靱帯損傷、変形性関節症等の病態メカニズム、理学療法評価、治療プログラムについて講義を行う科目である
内部障害系理学療法学 1	1	深堀 辰彦	病院で理学療法士として勤務し、内部障害に対する理学療法を経験した教員が呼吸器疾患、循環器疾患、代謝疾患などの理学療法について講義を行う科目である
内部障害系理学療法学 2	1	深堀 辰彦	病院で理学療法士として勤務し、内部障害に対する理学療法を経験した教員が呼吸器疾患、循環器疾患、代謝疾患などの理学療法について講義を行う科目である
神経障害系理学療法学 1	1	高森 真須美	急性期・回復期病院に勤務し、神経障害の理学療法を経験した教員が脳血管障害、パーキンソン病の理学療法について授業を行う科目である
神経障害系理学療法学 2	1	高森 真須美	急性期・回復期病院に勤務し、神経障害の理学療法を経験した教員が多発性硬化症やALS、脊髄損傷の理学療法について授業を行う科目である
理学療法プロセス 1	2	竹井 和人	総合病院および整形外科の病院に勤務し、整形外科の理学療法を経験した教員が症例をとおして理学療法のプロセスについて授業を行う科目である
		北島 保子	総合病院および整形外科の病院に勤務し、整形外科の理学療法を経験した教員が症例をとおして理学療法のプロセスについて授業を行う科目である
理学療法プロセス 2	2	深堀 辰彦	総合病院および整形外科病院等に勤務し、整形外科の理学療法を経験した教員が症例をとおして理学療法のプロセスについて授業を行う科目である
		高森 真須美	総合病院および整形外科病院等に勤務し、整形外科の理学療法を経験した教員が症例をとおして理学療法のプロセスについて授業を行う科目である
		政所 和也	総合病院および整形外科病院等に勤務し、整形外科の理学療法を経験した教員が症例をとおして理学療法のプロセスについて授業を行う科目である
		木下 佳祐	総合病院および整形外科病院等に勤務し、整形外科の理学療法を経験した教員が症例をとおして理学療法のプロセスについて授業を行う科目である

2026年度 実務経験のある教員による授業科目一覧（理学療法学科）

科目名	単位	講師名	実務経験内容
臨床動作分析学	1	深堀 辰彦	回復期病院に勤務し、中枢神経障害、運動器障害の理学療法を経験した教員が基本動作の観察・分析の方法について講義・実技・演習を行う科目である
臨床実習Ⅰ	1	各病院理学療法士	病院で勤務する理学療法士が実際の現場を通して指導する職業人としての姿勢や理学療法についてを見学実習する科目である
地域リハビリテーション実習	1	各施設 理学療法士	5年以上の臨床経験を有する理学療法士が地域包括ケアシステムの強化に資する高度医療人材を育成する事を目標に、地域に暮らす高齢者及び障害者を対象に、地域における作業療法士や多職種との役割、生活を支援するために必要な「知識」「技術」「多職種との連携」について教授・指導する。
臨床実習Ⅱ	6	各病院理学療法士	病院で勤務する理学療法士が実際の現場を通して指導する職業人としての姿勢や理学療法について、特に評価を中心に実習する科目である
臨床実習Ⅲ	18	各病院理学療法士	病院で勤務する理学療法士が実際の現場を通して指導する職業人としての姿勢や理学療法の実践過程について実習する科目である
作業療法概論	2	石田 真由	作業療法士として身体・精神障害の病院に勤務した経験を持つ教員が、作業療法の概要について講義を行う科目である。
理学療法総合研究	2	竹井 和人	理学療法研究の経験がある教員が研究方法について教授し、実際の研究を経験する授業である
課題協働演習1	1	寺崎 司	専門病院で作業療法士として実務経験のある教員が医療・保健・福祉・リハビリテーションに関連する内容を教授し、演習を通して学生間で内容を共有し、多角的な視点を養う科目である
		木下 佳祐	専門病院で理学療法士として実務経験のある教員が医療・保健・福祉・リハビリテーションに関連する内容を教授し、演習を通して学生間で内容を共有し、多角的な視点を養う科目である
課題協働演習2	1	寺崎 司	専門病院で作業療法士として実務経験のある教員が医療・保健・福祉・リハビリテーションに関連する内容を教授し、演習を通して学生間で内容を共有し、多角的な視点を養う科目である
		北島 保子	専門病院で理学療法士として実務経験のある教員が医療・保健・福祉・リハビリテーションに関連する内容を教授し、演習を通して学生間で内容を共有し、多角的な視点を養う科目である
統合学習1-1	1	北島 保子	病院で理学療法を経験した教員が理学療法の基礎と簡単な実技について教授する授業である
		小田 樹	病院で理学療法を経験した教員が理学療法の基礎と簡単な実技について教授する授業である
統合学習1-2	1	木下 佳祐	病院で理学療法を経験した教員が理学療法の実践を通して基礎を学習する授業である
		高森 真須美	病院で理学療法を経験した教員が理学療法の実践を通して基礎を学習する授業である
統合学習2	2	竹井 和人	病院で理学療法を経験した教員が理学療法の実践を通して基礎を学習する授業である
		深堀 辰彦	病院で理学療法を経験した教員が理学療法の実践を通して基礎を学習する授業である
統合学習3	2	木下 佳祐	病院で理学療法を経験した教員が国家試験を解くための基礎と応用について教授する授業である
		小田 樹	病院で理学療法を経験した教員が国家試験を解くための基礎と応用について教授する授業である
統合学習4	3	木下 佳祐	病院で理学療法を経験した教員が国家試験を解くための基礎と応用について教授したり、学生同士で学び合う授業である

合計	88 単位
----	-------